

科目名	高齢者心理学	
担当者	飯干 紀代子 / IIBOSHI, Kiyoko	
科目情報	心理臨床<福祉臨床> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	人間は生涯にわたって発達し続ける。ライフサイクルの最終ステージである老年期にも発達課題がある。講義では、知的機能、自我の発達における加齢の影響について概観し、高齢者の社会的・心理的適応とストレスの問題を考える。グループワークやディスカッションを行い、積極的・自主的な学習を励行する。
	到達目標	高齢者の心理について、生涯発達心理学的視点、および社会的・心理的適応の視点等、多角的な見方ができるようになる。
授業計画	(1) 生涯発達心理学 (2) 高齢者とライフサイクル (3) 高齢者の身体的特性（高齢者疑似体験） (4) 高齢者の心理的特性 (5) 高齢者に多い疾患や症状（認知症、うつ） (6) 高齢者の死生観 (7) サクセスフルエイジング (8) 臨床心理的評価 (9) 脳機能と画像診断 (10) 神経心理的評価 (11) 高齢者への支援①（回想法・RO法） (12) " ②（メモリーブック） (13) " ③（ ） (14) " ④（コミュニケーション） (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。
	事後学習	数回おきに発表あるいはレポート提出を行う
使用教材・参考文献	【教】 稲谷ふみ枝著『高齢者理解の臨床心理学』ナカニシヤ出版 2003 【参】 飯干紀代子著『今日から実践-認知症の人とのコミュニケーション』中央法規出版 2011 【参】 三村将・他著『高次脳機能障害マエストロシリーズ②画像の見かた・使い方』医歯薬出版 2007	
成績評価方法と基準	終了試験 70%、受講態度 15%、出席態度 15%	
備考		